

## 生涯教育セミナーシラバス

科目名	DPCコーディング概論	科目区分		時間		回数	
担当講師	宮津志津子		初級		60分		--

### 講義概要

ICDを利用した疾病分類の目的と情報の活用には、検索、統計、医療の質、公衆衛生などがあり、さらに、わが国においては、DPC制度（DPC/PDPS）の導入により診療報酬請求および様式1データにも使用されるようになった。

「DPC/PDPS傷病名コーディングテキスト」は、2016（平成28）年4月に改訂版が発行されDPCコーディングの標準化が進んできている状況である。

本科目は、主に、「疾病及、傷害および死因統計分類提要」（ICD-10）第1巻総論と、DPC/PDPS傷病名コーディングテキストに基づいて、主傷病名選択ルールやコーディングに関する考え方について学習する。

### 講義の目標

- ・「疾病、傷害および死因統計分類提要」（ICD-10第1巻）によるコーディングルールと、「DPC/PDPS傷病名コーディングテキスト」におけるルールについて理解できる。
- ・上記のコーディングの違いが理解できる。
- ・主要病態（主傷病名）の選択ルールについて理解できる。

### 講義内容

- 1.国際疾病分類（ICD）について
- 2.主要病態（主傷病名）の選択について
- 3.「疾病、傷害および死因統計分類提要」（ICD-10第1巻）によるコーディングルール
- 4.「DPC/PDPS傷病名コーディングテキスト」におけるコーディングルール
- 5.上記2つのコーディングルールの違い

## 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	医療情報システム概論	科目区分	時間	回数
担当講師	盛永 剛	初級	60分	--

### 講義概要

最近では電子カルテシステムが導入されている病院も多く、合わせてオーダーリングシステムや部門システムが導入されているケースが多い。これらを統合して「医療情報システム」と呼ばれることも多いが、このシステム上で日々の業務や情報を管理するためには、厚生労働省通知による「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に沿った運用が必須となる。

この単元では、医療情報システム導入の背景や部門システムなどを確認しつつ、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に沿った運用・管理を中心に学習する。

### 講義の目標

- ・医療情報システム導入の背景
- ・部門システムの種類（どのような部門システムがあるのか）
- ・電子カルテの三大原則と「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」を理解する

### 講義内容

- ・厚生労働省による医療情報システム導入推進の背景
- ・部門システムの種類など（医療情報システム導入施設の構成一例）
- ・電子カルテの三大原則と「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」  
（電子カルテなどの画像を交えながら特に注意して欲しい点を中心に講義）